

▲中央大学 小・中学生の健全な育成に寄与



▲**首都大学** 市のデータを学生が形にします



▲明星大学② MCATのメンバー。 この他にも市のさまざまな事業に協力いただいています



▼明星大学① バルに採用された酒印帳(写真上)、 商品化も期待されるちょうちん (写真下)など学生デザインが市を 盛り上げています

ティアサー (明

クル)

の皆さまと

**②自転車安全通行啓発運動** 

高幡不動駅地下道では、

(明星大学防犯ボラン



プレゼンには企業や多くの学生が参加



▲実践女子大学① 学生のブースには子供から大人まで長蛇の列ができ、大忙しだった



▲実践女子大学② 名刺をデザインした布田さん



市では、実践女子学園および明星大学と、それぞれ相互協力・連携に関 する包括協定を締結し、さまざまな分野において連携を図っています。また、 その他の大学においても、地域の課題解決のため、さまざまな取り組みを 行っています。

今後も、市が抱えるさまざまな課題に対し、学生たちにより、あらゆる角度 からアプローチいただき、若い学生の行動力や発想を、市の活性化に役立て ていきたいと考えています。広報今号では、各大学との取り組みを紹介します。

ます。

く

市のPRができるデザ

また、

昨年3月に開設され

課題とした授業を展開してい

の少子高齢化や地域づくりをでは専門教育科目として、市

②職員向け名刺デザイン

市職員が使用する名刺につ

①地域コミュニティ形成

評いただいています。 齢者まで多世代との交流を深

実践女子-

実践女子大学現代生活学科

取り組みが行われています。

ミュニティ形成を図るという 地域の方と交流しながらコ をきっかけに、

有志の学生が

の案が採用されました。

市の花「菊」や市の鳥「カ

境学科2年の布田江里奈さん

た東宮下地区センターの開所

依頼をし、

生活科学部生活環

インを実践女子大学の学生に

月に1回開催される「みんな

のひろば」では、

子供から高

る新たな名刺が誕生しました。 ビジネスシーンでも活用でき ワセミ」をさりげなく配置し、 問企画経営課(☎514-8047)

# 明星大学

①地域デザイン

# 20回目を迎える「新選組まつ 報告会が開催され、その中の 組の活用について」。 る新たなアイデアが形にな で使用する店舗ごとのスタン や日野駅周辺のバルイベント り」のおもてなし会場の提案 き出しています。 は「市の活性化やシティセ プやポスター いくつかが実現化に向けて動 ルスを推進するための、 います。平成28年度のテー 市をテーマに授業を実施して 明星大学デザイン学部では、 など、 平成29年に 学生に-7月には 新選 ż

③日野市活性化

えています。

行する自転車の割り合いが増開始当初に比べ、降車して通

全な通行を呼びかけており、

大学と地域が連携して安心安動はすでに10回以上行われ、

活動を行っています。この活

一緒に自転車事故防止の啓発

# 平成26・27年度は、 ビジネスプラン提案

性化のみならず、企業ヒントになっており、 化をテー 度は、 す。 をいただきました。 動物公園駅周辺の活性化を 携強化にもつながっています。 にとって、 業者などの協力のもと、 ントになっており、地域活とって、今後の事業展開の。市や協力いただいた企業をテーマに取り組んでいま マとし、 高幡不動駅周辺の活性 ました。平成28年さまざまな提案 企業との連 鉄道事 多摩



# ○オープンデータ

首都大学の学生が、

市の

生まれることが期待されます。 装可能なアプリケーションが ジ日野市賞を受賞しました。 支援をいただくとともに、 て専門家である教授、 る、アーバンデータチャレンオープンデータの活用に関す からのアプリ実装への助言、 オープンデータの領域におい ゼミ生 実 ています。

が今年も開催されました。スポーツ振興に貢献する中大杯さや夢を伝え、地域からのス 中学生の健全な育成に寄与し め、参加者にスポ て多摩地域の方々と交流を深 中央大学がスポーツを通じ ツを通じて、 日野市の小 ーツの楽し

# ○中央大学杯